

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 秋田県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	循環器・脳脊髄センター	2
-	リハビリテーション・精神医療センター	3
秋田市	秋田総合病院	4
横手市	横手病院	5
横手市	大森病院	6
大館市	総合病院	7
大館市	扇田病院	8
男鹿市	男鹿みなと市民病院	9
大仙市	大曲病院	10
北秋田市	北秋田市民病院	11
北秋田市	阿仁病院	12
北秋田市	米内沢総合病院	13
仙北市	田沢湖病院	14
仙北市	角館総合病院	15
羽後町	羽後病院	16

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器・脳脊髄センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）		1,023,119
決算規模（千円）		581,507,250
標準財政規模（千円）		319,230,693
財政力指数		0.31752
経常収支比率（%）		93.7
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.1
	将来負担比率（%）	260.2

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,247			
1 経常収益	1,247			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,247			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,247			
2 経常費用	1,247			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	1,247			
(うち支払利息)	1,247	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	80.7

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	
		病院名	リハビリテーション・精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,023,119	
決算規模(千円)	581,507,250	
標準財政規模(千円)	319,230,693	
財政力指数	0.31752	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	260.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	128,420			
1 経常収益	128,420			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	128,420			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	128,420			
2 経常費用	128,420			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	128,420			
(うち支払利息)	128,420	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	秋田市
		病院名	秋田総合病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	315,814	
決算規模(千円)	134,804,136	
標準財政規模(千円)	71,645,893	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	72.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,838			
1 経常収益	12,838			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	12,838			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,838			
2 経常費用	12,838			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	54.0
材料費	-	-	24.7	26.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.2
減価償却費	-	-	9.0	7.9
経費	-	-	23.3	19.2
(うち委託料)	-	-	11.5	9.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	12,838			
(うち支払利息)	12,838	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	横手市
				病院名	横手病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,112 m ²	指定病院の状況	救臨感 輪		
診療科数	17	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	225	74.7	75.6	81.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	229	73.4	74.2	79.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.0	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	92,197	
決算規模(千円)	54,651,182	
標準財政規模(千円)	30,460,642	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	15.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.3
修正医業収益(千円)	4,799,385

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,134,214			
1 経常収益	5,134,214			
(1) 医業収益	4,896,783			
入院収益	3,019,090			
外来収益	1,523,855			
診療収入計	4,542,945			
その他医業収益	353,838			
(うち他会計負担金)	97,398			
(2) 医業外収益	237,431			
(うち国・都道府県補助金)	8,065			
(うち他会計補助・負担金)	205,166			
(うち長期前受金戻入)	847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,126,197			
2 経常費用	5,125,918			
(1) 医業費用	5,088,969			
職員給与費	2,758,040	56.3	55.7	59.8
材料費	1,090,589	22.3	24.7	19.0
(うち薬品費)	562,389	11.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	526,492	10.8	11.0	9.2
減価償却費	322,325	6.6	9.0	9.9
経費	896,682	18.3	23.3	27.7
(うち委託料)	324,750	6.6	11.5	12.4
研究研修費	16,536			
資産減耗費	4,797			
(2) 医業外費用	36,949			
(うち支払利息)	36,399	0.7	1.4	1.5
(3) 特別損失	279			
損益				
経常損益	8,296			
純損益	8,017			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.2		97.7	96.3
医業収支比率	96.2		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	5.9		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	94.3		85.7	83.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,337,514
1 固定資産	5,944,569
(1) 有形固定資産	5,938,541
(2) 無形固定資産	1,028
(3) 投資その他の資産	5,000
2 流動資産	5,392,945
(1) 現金及び預金	4,022,321
(2) 未収金及び未収収益	1,205,708
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	64,916
3 繰延資産	-
負債合計	6,204,090
1 固定負債	4,801,272
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,803,967
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	997,305
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,352,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	599,787
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,573
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	456,024
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	50,767
(1) 長期前受金	713,543
(2) 長期前受金収益化累計額()	662,776
資本合計	5,133,424
1 資本金	5,198,236
2 剰余金	-64,812
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-64,812
負債・資本合計	11,337,514
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	301,105	302,564
資本勘定繰入	182,357	121,358
計	483,462	423,922

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	横手市
				病院名	大森病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,564 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	95.2	95.4	95.5
療養	50	89.3	89.0	92.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	93.2	93.3	94.6
平均在院日数(一般病床のみ)		34.2	35.4	35.3

設立団体の状況		
人口(人)	92,197	
決算規模(千円)	54,651,182	
標準財政規模(千円)	30,460,642	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	15.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.9
修正医業収益(千円)	2,122,018

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,381,102			
1 経常収益	2,381,102			
(1) 医業収益	2,162,196			
入院収益	1,494,453			
外来収益	496,313			
診療収入計	1,990,766			
その他医業収益	171,430			
(うち他会計負担金)	40,178			
(2) 医業外収益	218,906			
(うち国・都道府県補助金)	2,337			
(うち他会計補助・負担金)	166,204			
(うち長期前受金戻入)	4,269			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,456,072			
2 経常費用	2,455,450			
(1) 医業費用	2,414,561			
職員給与費	1,335,620	61.8	55.7	61.3
材料費	343,591	15.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	175,362	8.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	162,287	7.5	11.0	8.2
減価償却費	133,212	6.2	9.0	10.2
経費	585,353	27.1	23.3	30.5
(うち委託料)	239,005	11.1	11.5	13.0
研究研修費	11,307			
資産減耗費	5,478			
(2) 医業外費用	40,889			
(うち支払利息)	39,425	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	622			
損益				
経常損益	-74,348			
純損益	-74,970			
累積欠損金	534,478			
経常収支比率	97.0		97.7	96.5
医業収支比率	89.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	88.6		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,337,514
1 固定資産	5,944,569
(1) 有形固定資産	5,938,541
(2) 無形固定資産	1,028
(3) 投資その他の資産	5,000
2 流動資産	5,392,945
(1) 現金及び預金	4,022,321
(2) 未収金及び未収収益	1,205,708
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	64,916
3 繰延資産	-
負債合計	6,204,090
1 固定負債	4,801,272
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,803,967
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	997,305
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,352,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	599,787
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,573
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	456,024
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	50,767
(1) 長期前受金	713,543
(2) 長期前受金収益化累計額()	662,776
資本合計	5,133,424
1 資本金	5,198,236
2 剰余金	-64,812
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-64,812
負債・資本合計	11,337,514
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	257,530	206,382
資本勘定繰入	150,368	136,036
計	407,898	342,418

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	大館市
				病院名	総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,423 m ²	指定病院の状況	救臨が感災		
診療科数	25	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	375	69.0	70.6	70.2
療養	-	-	-	-
結核	6	-	-	-
精神	60	48.3	47.1	39.8
感染症	2	-	-	-
計	443	65.0	66.2	64.8
平均在院日数（一般病床のみ）		12.0	12.3	12.8

設立団体の状況		
人口（人）	74,175	
決算規模（千円）	37,185,442	
標準財政規模（千円）	21,469,497	
財政力指数	0.42	
経常収支比率（%）	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.5
	将来負担比率（%）	72.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	89.3
修正医業収益（千円）	8,936,298

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,285,992			
1 経常収益	10,284,209			
(1) 医業収益	9,065,082			
入院収益	5,101,785			
外来収益	3,579,186			
診療収入計	8,680,971			
その他医業収益	384,111			
(うち他会計負担金)	128,784			
(2) 医業外収益	1,219,127			
(うち国・都道府県補助金)	40,450			
(うち他会計補助・負担金)	1,042,069			
(うち長期前受金戻入)	49,157			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,783			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,513,991			
2 経常費用	10,512,475			
(1) 医業費用	10,010,835			
職員給与費	4,671,426	51.5	55.7	54.0
材料費	2,507,509	27.7	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,529,965	16.9	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	915,124	10.1	11.0	12.2
減価償却費	549,074	6.1	9.0	7.9
経費	2,235,938	24.7	23.3	19.2
(うち委託料)	999,128	11.0	11.5	9.3
研究研修費	35,002			
資産減耗費	11,886			
(2) 医業外費用	501,640			
(うち支払利息)	134,256	1.5	1.4	1.3
(3) 特別損失	1,516			
損益				
経常損益	-228,266			
純損益	-227,999			
累積欠損金	1,531,813			
経常収支比率	97.8		97.7	98.8
医業収支比率	90.6		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	11.4		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	86.7		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,266,439
1 固定資産	8,998,103
(1) 有形固定資産	8,969,744
(2) 無形固定資産	11,356
(3) 投資その他の資産	17,003
2 流動資産	2,268,336
(1) 現金及び預金	581,682
(2) 未収金及び未収収益	1,637,254
(3) 貸倒引当金（ ）	1,174
(4) 貯蔵品	46,950
3 繰延資産	-
負債合計	9,999,719
1 固定負債	6,454,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,446,856
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,887,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	520,419
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	379,055
(6) リース債務	6,066
(7) 一時借入金	1,350,000
(8) 未払金及び未払費用	581,140
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	657,496
(1) 長期前受金	1,683,510
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,026,014
資本合計	1,266,720
1 資本金	2,598,380
2 剰余金	-1,331,660
(1) 資本剰余金	128,538
(2) 利益剰余金	-1,460,198
負債・資本合計	11,266,439
不良債務	98,812
実質資金不足額	98,812
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,170,853	1,170,853
資本勘定繰入	349,090	349,090
計	1,519,943	1,519,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	98,812	1.0
平成30年度	85,253	0.9
平成29年度	121,492	1.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	14.3
健全化法上の資金不足額（千円）	98,812
健全化法上の資金不足比率（%）	0.9
地財法上の資金不足額（千円）	98,812
地財法上の資金不足比率（%）	0.9

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	大館市
				病院名	扇田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	9,305 m ²	指定病院の状況			
診療科数	5	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	62	74.0	83.3	74.9
療養	42	86.4	89.3	81.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	104	79.0	85.7	77.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	18.9	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	74,175	
決算規模(千円)	37,185,442	
標準財政規模(千円)	21,469,497	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	91.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	72.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.3
修正医業収益(千円)	1,114,131

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,357,037			
1 経常収益	1,357,029			
(1) 医業収益	1,126,128			
入院収益	743,503			
外来収益	301,184			
診療収入計	1,044,687			
その他医業収益	81,441			
(うち他会計負担金)	11,997			
(2) 医業外収益	230,901			
(うち国・都道府県補助金)	459			
(うち他会計補助・負担金)	175,161			
(うち長期前受金戻入)	49,939			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,425,878			
2 経常費用	1,425,878			
(1) 医業費用	1,388,157			
職員給与費	784,453	69.7	55.7	61.3
材料費	158,615	14.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	52,856	4.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,746	8.1	11.0	8.2
減価償却費	83,345	7.4	9.0	10.2
経費	358,612	31.8	23.3	30.5
(うち委託料)	148,473	13.2	11.5	13.0
研究研修費	1,551			
資産減耗費	1,581			
(2) 医業外費用	37,721			
(うち支払利息)	463	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-68,849			
純損益	-68,841			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.2		97.7	96.5
医業収支比率	81.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	82.0		85.7	80.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,266,439
1 固定資産	8,998,103
(1) 有形固定資産	8,969,744
(2) 無形固定資産	11,356
(3) 投資その他の資産	17,003
2 流動資産	2,268,336
(1) 現金及び預金	581,682
(2) 未収金及び未収収益	1,637,254
(3) 貸倒引当金()	1,174
(4) 貯蔵品	46,950
3 繰延資産	-
負債合計	9,999,719
1 固定負債	6,454,656
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,446,856
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,887,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	520,419
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	379,055
(6) リース債務	6,066
(7) 一時借入金	1,350,000
(8) 未払金及び未払費用	581,140
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	657,496
(1) 長期前受金	1,683,510
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,026,014
資本合計	1,266,720
1 資本金	2,598,380
2 剰余金	-1,331,660
(1) 資本剰余金	128,538
(2) 利益剰余金	-1,460,198
負債・資本合計	11,266,439
不良債務	98,812
実質資金不足額	98,812
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	187,158	187,158
資本勘定繰入	21,301	21,301
計	208,459	208,459

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	98,812	1.0
平成30年度	85,253	0.9
平成29年度	121,492	1.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.3
健全化法上の資金不足額(千円)	98,812
健全化法上の資金不足比率(%)	0.9
地財法上の資金不足額(千円)	98,812
地財法上の資金不足比率(%)	0.9

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	男鹿市
				病院名	男鹿みなと市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,936 m ²	指定病院の状況	救臨 へ		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	145	79.2	78.7	85.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	145	79.2	78.7	85.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	19.5	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	28,375	
決算規模(千円)	15,080,027	
標準財政規模(千円)	10,110,377	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	70.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.3
修正医業収益(千円)	2,115,955

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,569,272			
1 経常収益	2,569,272			
(1) 医業収益	2,192,756			
入院収益	1,307,836			
外来収益	781,009			
診療収入計	2,088,845			
その他医業収益	103,911			
(うち他会計負担金)	76,801			
(2) 医業外収益	376,516			
(うち国・都道府県補助金)	270			
(うち他会計補助・負担金)	279,459			
(うち長期前受金戻入)	88,490			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,554,349			
2 経常費用	2,554,349			
(1) 医業費用	2,425,055			
職員給与費	1,387,677	63.3	55.7	61.3
材料費	461,431	21.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	316,889	14.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	144,542	6.6	11.0	8.2
減価償却費	133,471	6.1	9.0	10.2
経費	429,051	19.6	23.3	30.5
(うち委託料)	208,190	9.5	11.5	13.0
研究研修費	3,170			
資産減耗費	10,255			
(2) 医業外費用	129,294			
(うち支払利息)	44,753	2.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	14,923			
純損益	14,923			
累積欠損金	1,656,726			
経常収支比率	100.6		97.7	96.5
医業収支比率	90.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.6		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,410,538
1 固定資産	1,938,472
(1) 有形固定資産	1,895,008
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	43,464
2 流動資産	472,066
(1) 現金及び預金	105,453
(2) 未収金及び未収収益	331,998
(3) 貸倒引当金()	479
(4) 貯蔵品	35,094
3 繰延資産	-
負債合計	3,832,783
1 固定負債	2,101,423
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,810,873
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	290,550
(7) リース債務	-
2 流動負債	777,657
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	299,802
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	73,825
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	270,000
(8) 未払金及び未払費用	124,071
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	953,703
(1) 長期前受金	1,287,810
(2) 長期前受金収益化累計額()	334,107
資本合計	-1,422,245
1 資本金	28,491
2 剰余金	-1,450,736
(1) 資本剰余金	205,990
(2) 利益剰余金	-1,656,726
負債・資本合計	2,410,538
不良債務	5,789
実質資金不足額	5,789
資金不足額()	1,422,245
資本不足額(繰延収益控除後)()	468,542
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	299,672	356,260
資本勘定繰入	180,246	188,027
計	479,918	544,287

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	5,789	0.3
平成30年度	31,155	1.5
平成29年度	20,332	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	75.6
健全化法上の資金不足額(千円)	5,789
健全化法上の資金不足比率(%)	0.2
地財法上の資金不足額(千円)	5,789
地財法上の資金不足比率(%)	0.2

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	大仙市
		病院名	大曲病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	5,857 m ²	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	120	70.9	82.7	80.2
感染症	-	-	-	-
計	120	70.9	82.7	80.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	82,783	
決算規模(千円)	45,192,572	
標準財政規模(千円)	27,798,533	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.3
	将来負担比率(%)	127.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	64.7
修正医業収益(千円)	524,521

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	852,468			
1 経常収益	852,468			
(1) 医業収益	524,521			
入院収益	446,700			
外来収益	73,694			
診療収入計	520,394			
その他医業収益	4,127			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	327,947			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	303,741			
(うち長期前受金戻入)	22,220			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	837,069			
2 経常費用	836,040			
(1) 医業費用	810,885			
職員給与費	487,799	93.0	55.7	98.9
材料費	32,934	6.3	24.7	8.8
(うち薬品費)	25,710	4.9	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,224	1.4	11.0	1.1
減価償却費	45,756	8.7	9.0	12.7
経費	242,826	46.3	23.3	34.6
(うち委託料)	96,911	18.5	11.5	17.1
研究研修費	1,502			
資産減耗費	68			
(2) 医業外費用	25,155			
(うち支払利息)	25,037	4.8	1.4	2.9
(3) 特別損失	1,029			
損益				
経常損益	16,428			
純損益	15,399			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.0		97.7	98.9
医業収支比率	64.7		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.6		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	57.9		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	35.6		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	65.6		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,252,220
1 固定資産	983,760
(1) 有形固定資産	983,461
(2) 無形固定資産	299
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	268,460
(1) 現金及び預金	178,091
(2) 未収金及び未収収益	88,772
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,597
3 繰延資産	-
負債合計	1,034,975
1 固定負債	642,282
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	624,078
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	18,204
(7) リース債務	-
2 流動負債	154,022
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	105,765
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,300
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,857
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	238,671
(1) 長期前受金	534,479
(2) 長期前受金収益化累計額()	295,808
資本合計	217,245
1 資本金	134,914
2 剰余金	82,331
(1) 資本金剰余金	16,906
(2) 利益剰余金	65,425
負債・資本合計	1,252,220
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	303,741	303,741
資本勘定繰入	52,719	51,259
計	356,460	355,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	北秋田市
	病院名	北秋田市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,304 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災
診療科数	21	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	224	60.5	62.4	67.5
療養	48	85.6	80.5	88.1
結核	4	10.8	36.2	16.2
精神	40	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	320	55.3	56.2	60.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	18.1	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	33,224	
決算規模(千円)	24,316,049	
標準財政規模(千円)	13,574,017	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	74.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	779,922			
1 経常収益	779,922			
(1) 医業収益	59,500			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	59,500			
(うち他会計負担金)	59,500			
(2) 医業外収益	720,422			
(うち国・都道府県補助金)	19,261			
(うち他会計補助・負担金)	491,780			
(うち長期前受金戻入)	40,712			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,082,487			
2 経常費用	1,082,487			
(1) 医業費用	766,379			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	316,297	531.6	9.0	9.3
経費	450,082	756.4	23.3	22.1
(うち委託料)	306,409	515.0	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	316,108			
(うち支払利息)	89,794	150.9	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-302,565			
純損益	-302,565			
累積欠損金	3,424,928			
経常収支比率	72.0		97.7	96.4
医業収支比率	7.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	70.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	926.5		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	70.7		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	21.1		85.7	85.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,402,349
1 固定資産	5,383,088
(1) 有形固定資産	5,220,766
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	162,322
2 流動資産	19,261
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	19,261
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,115,463
1 固定負債	5,135,293
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,023,395
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	111,898
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	270,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	250,960
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	19,261
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	709,949
(1) 長期前受金	1,248,938
(2) 長期前受金収益化累計額()	538,989
資本合計	-713,114
1 資本金	2,711,814
2 剰余金	-3,424,928
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,424,928
負債・資本合計	5,402,349
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	713,114
資本不足額(繰延収益控除後)()	3,165

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	138,821	551,280
資本勘定繰入	92,118	243,495
計	230,939	794,775

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5756.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	北秋田市
		病院名	阿仁病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	33,224	
決算規模(千円)	24,316,049	
標準財政規模(千円)	13,574,017	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	74.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	544			
1 経常収益	544			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	544			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	544			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	544			
2 経常費用	544			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.1
経費	-	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	544			
(うち支払利息)	544	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	363	544
資本勘定繰入	1,199	1,798
計	1,562	2,342

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5756.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	北秋田市
		病院名	米内沢総合病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	33,224	
決算規模（千円）	24,316,049	
標準財政規模（千円）	13,574,017	
財政力指数	0.26	
経常収支比率（%）	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.9
	将来負担比率（%）	74.2

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,930			
1 経常収益	1,930			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,930			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,930			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,930			
2 経常費用	1,930			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.1
経費	-	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,930			
(うち支払利息)	1,930	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,287	1,930
資本勘定繰入	5,745	8,617
計	7,032	10,547

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	5756.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	仙北市
				病院名	田沢湖病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種	該当	
建物面積	6,006 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	9	看護配置	13	: 1	
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	79.4	78.5	80.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	79.4	78.5	80.3
平均在院日数(一般病床のみ)		89.9	79.1	77.3

設立団体の状況		
人口(人)	27,523	
決算規模(千円)	21,674,686	
標準財政規模(千円)	11,745,623	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	118.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.3
修正医業収益(千円)	632,171

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	912,537			
1 経常収益	906,518			
(1) 医業収益	652,015			
入院収益	397,905			
外来収益	206,446			
診療収入計	604,351			
その他医業収益	47,664			
(うち他会計負担金)	19,844			
(2) 医業外収益	254,503			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	244,618			
(うち長期前受金戻入)	8,108			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,019			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	889,513			
2 経常費用	889,513			
(1) 医業費用	851,389			
職員給与費	403,842	61.9	55.7	72.6
材料費	81,623	12.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	43,148	6.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,630	4.4	11.0	5.6
減価償却費	71,867	11.0	9.0	11.1
経費	293,164	45.0	23.3	31.9
(うち委託料)	54,983	8.4	11.5	13.0
研究研修費	821			
資産減耗費	72			
(2) 医業外費用	38,124			
(うち支払利息)	17,013	2.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	17,005			
純損益	23,024			
累積欠損金	1,490,496			
経常収支比率	101.9		97.7	97.4
医業収支比率	76.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	29.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	40.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	29.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	72.2		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,352,439
1 固定資産	9,685,356
(1) 有形固定資産	9,259,287
(2) 無形固定資産	1,869
(3) 投資その他の資産	424,200
2 流動資産	667,083
(1) 現金及び預金	20,882
(2) 未収金及び未収収益	632,162
(3) 貸倒引当金()	6,289
(4) 貯蔵品	20,328
3 繰延資産	-
負債合計	12,357,992
1 固定負債	10,310,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,829,065
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,481,825
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,736,771
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	433,121
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	154,603
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	896,000
(8) 未払金及び未払費用	233,140
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,331
(1) 長期前受金	875,574
(2) 長期前受金収益化累計額()	565,243
資本合計	-2,005,553
1 資本金	3,301,007
2 剰余金	-5,306,560
(1) 資本剰余金	284,598
(2) 利益剰余金	-5,591,158
負債・資本合計	10,352,439
不良債務	636,567
実質資金不足額	636,567
資本不足額()	2,005,553
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,695,222

備考：
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	264,462	264,462
資本勘定繰入	60,532	60,532
計	324,994	324,994

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	636,567	16.8
平成30年度	704,554	18.9
平成29年度	669,205	17.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	147.6
健全化法上の資金不足額(千円)	636,567
健全化法上の資金不足比率(%)	16.7
地財法上の資金不足額(千円)	636,567
地財法上の資金不足比率(%)	16.7

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	仙北市
				病院名	角館総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,034 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪		
診療科数	15	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	170	83.5	85.4	88.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	36	-	-	50.1
感染症	-	-	-	-
計	206	68.9	70.4	81.5
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	16.5	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	27,523	
決算規模(千円)	21,674,686	
標準財政規模(千円)	11,745,623	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.9
	将来負担比率(%)	118.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.3
修正医業収益(千円)	3,011,105

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,821,430			
1 経常収益	3,764,467			
(1) 医業収益	3,137,313			
入院収益	1,903,310			
外来収益	1,010,202			
診療収入計	2,913,512			
その他医業収益	223,801			
(うち他会計負担金)	126,208			
(2) 医業外収益	627,154			
(うち国・都道府県補助金)	22,810			
(うち他会計補助・負担金)	585,252			
(うち長期前受金戻入)	3,794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	56,963			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,009,537			
2 経常費用	3,986,208			
(1) 医業費用	3,847,891			
職員給与費	1,958,176	62.4	55.7	59.8
材料費	611,223	19.5	24.7	19.0
(うち薬品費)	275,829	8.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	304,658	9.7	11.0	9.2
減価償却費	362,044	11.5	9.0	9.9
経費	866,902	27.6	23.3	27.7
(うち委託料)	263,664	8.4	11.5	12.4
研究研修費	44,865			
資産減耗費	4,681			
(2) 医業外費用	138,317			
(うち支払利息)	14,527	0.5	1.4	1.5
(3) 特別損失	23,329			
損益				
経常損益	-221,741			
純損益	-188,107			
累積欠損金	4,100,662			
経常収支比率	94.4		97.7	96.3
医業収支比率	81.5		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	76.6		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,352,439
1 固定資産	9,685,356
(1) 有形固定資産	9,259,287
(2) 無形固定資産	1,869
(3) 投資その他の資産	424,200
2 流動資産	667,083
(1) 現金及び預金	20,882
(2) 未収金及び未収収益	632,162
(3) 貸倒引当金()	6,289
(4) 貯蔵品	20,328
3 繰延資産	-
負債合計	12,357,992
1 固定負債	10,310,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,829,065
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,481,825
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,736,771
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	433,121
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	154,603
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	896,000
(8) 未払金及び未払費用	233,140
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	310,331
(1) 長期前受金	875,574
(2) 長期前受金収益化累計額()	565,243
資本合計	-2,005,553
1 資本金	3,301,007
2 剰余金	-5,306,560
(1) 資本剰余金	284,598
(2) 利益剰余金	-5,591,158
負債・資本合計	10,352,439
不良債務	636,567
実質資金不足額	636,567
資本不足額()	2,005,553
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,695,222

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	711,460	711,460
資本勘定繰入	219,469	219,469
計	930,929	930,929

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	636,567	16.8
平成30年度	704,554	18.9
平成29年度	669,205	17.4

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	147.6
健全化法上の資金不足額(千円)	636,567
健全化法上の資金不足比率(%)	16.7
地財法上の資金不足額(千円)	636,567
地財法上の資金不足比率(%)	16.7

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	羽後町
				病院名	羽後病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,299 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	114	51.1	68.4	67.8
療養	54	62.3	45.1	46.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	168	54.7	60.9	60.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	16.0	17.0

設立団体の状況		
人口(人)		15,319
決算規模(千円)		8,129,390
標準財政規模(千円)		5,154,796
財政力指数		0.26
経常収支比率(%)		92.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	36.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.6
修正医業収益(千円)	1,829,506

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,151,515			
1 経常収益	2,151,515			
(1) 医業収益	1,888,506			
入院収益	1,329,721			
外来収益	437,205			
診療収入計	1,766,926			
その他医業収益	121,580			
(うち他会計負担金)	59,000			
(2) 医業外収益	263,009			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	241,000			
(うち長期前受金戻入)	13,982			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,163,529			
2 経常費用	2,163,529			
(1) 医業費用	2,063,914			
職員給与費	1,163,584	61.6	55.7	61.3
材料費	364,801	19.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	154,929	8.2	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	187,132	9.9	11.0	8.2
減価償却費	140,150	7.4	9.0	10.2
経費	386,766	20.5	23.3	30.5
(うち委託料)	168,210	8.9	11.5	13.0
研究研修費	6,444			
資産減耗費	2,169			
(2) 医業外費用	99,615			
(うち支払利息)	34,405	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-12,014			
純損益	-12,014			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.4		97.7	96.5
医業収支比率	91.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	85.6		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,632,078
1 固定資産	2,261,494
(1) 有形固定資産	2,260,799
(2) 無形固定資産	695
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	370,584
(1) 現金及び預金	89,024
(2) 未収金及び未収収益	268,815
(3) 貸倒引当金()	6,955
(4) 貯蔵品	19,700
3 繰延資産	-
負債合計	1,494,843
1 固定負債	879,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	878,729
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	384,885
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	202,970
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,348
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	116,442
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	230,916
(1) 長期前受金	692,673
(2) 長期前受金収益化累計額()	461,757
資本合計	1,137,235
1 資本金	1,088,671
2 剰余金	48,564
(1) 資本剰余金	19,636
(2) 利益剰余金	28,928
負債・資本合計	2,632,078
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	261,833	300,000
資本勘定繰入	140,072	-
計	401,905	300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。